教育相談

スケール活用の手引き

教師の受容的な態度・生徒の体験過程を評定するために

石岡市立八郷中学校　教諭　鈴木亮範

スケール活用の手引きについて

1　はじめに

生徒指導提要（平成22年３月）では,「教育相談は主に個に焦点を当て、面接や演習を通して個の内面の変容を図ろうとする」と述べられ，児童生徒への個別の対応の必要性が求められています。

我々教師は，生徒理解の深化のため，定期や呼出しなどによる個別面接を行うことがありますが，一対一の関係が基本となる個別面接では，内容について自ら振り返り，評価することは困難です。そこで，より客観的かつ正確に教師が自らの面接を評価し，以後の改善に役立てたいと考え，既存のスケールを改良し,「教師の受容的な態度及び生徒の体験過程を評定するためのスケール」を作成しました。

本手引きは，主にこれから個別面接について深く学んでいこうと考えている先生方や，日頃の自らの個別面接を振り返ってみようと考えている先生方を対象としています。これから学んでいこうと考えている先生方は，本手引きを参考にし，まずは個別面接について理解を深め，その後の実践にお役立てください。また，日頃の実践を振り返ってみようという先生方は，スケールを活用し，その後の面接の改善にお役立ていただければ幸いです。

今後も，本手引きをより活用しやすいものに改善していきたいと考えておりますので，御意見をいただけるようお願いいたします。

2　目次

(１)手引きの使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２
(２)個別面接を行う際の留意点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３
(３)個別面接から検討までの流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５
(４)逐語記録の作成の仕方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ６
(５)受容的な態度・体験過程とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７
(６)教師の受容的な態度及び生徒の体験過程の評定の方法・・・・・・・・Ｐ９
(７)教師の受容的な態度及び生徒の体験過程を評定するためのスケール・Ｐ10
(８)スケールの見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ11
(９)スケールを活用した評定のポイント・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ12
(10)スケールを活用した評定の実際（逐語記録を基に）・・・・・・・・・Ｐ14
(11)資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ17
　・逐語記録の検討による教師の応答の改善について

（1）手引きの使い方

本手引きは，個別面接の流れについて理解を深め，生徒の自己成長を支援していくことを目的に作成しました。本手引きを活用すれば，個別面接についての客観的かつ正確な評価を通して，以後の面接の改善に生かすことが可能となります。

先生方はこれまで，目的に応じて定期面接や呼出し面接などの個別面接を実施した経験があるかと思いますが，本来の教育相談の目的は，生徒の「個の内面の変容」を図ることです。「手引きの使い方」を一読していただき，本手引きの活用の方法をお選びください。

手引きの使い方

A　全体を読んで活用する方法

本手引きは，個別面接を行った後の逐語記録の作成，スケールを活用した評定及び検討までの流れを説明するものになっています。初めに，全体に目を通すことで，自らの面接をより客観的かつ正確に評定し，その後の改善に役立てていくという，本手引きの目的について理解できます。

B　部分を読んで活用する方法

個別面接の実践については，先生方の中にこれまでの経験の違いがあるかと思います。本手引きは，それぞれの先生方のニーズに合わせたいと考え，内容を項目別にまとめました。全体を読まなくとも，自分に必要だと思われる項目だけを読んでいただいても，個別面接に対する効果が期待されます。是非，それぞれのニーズに合わせて活用してください。

※ニーズに合わせた活用の例

○個別面接の経験が豊富な先生の場合

→「（3）逐語記録の作成の仕方」を読み，自らの方法と比較することで，改善点を見つける。

→「（5）教師の受容的な態度及び生徒の体験過程の評定の方法」を読み，実際に自分が行った個別面接における教師の応答を評定し，客観的な視点から自らの応答を振り返る。

○これから個別面接について学んでいこうと考えている先生の場合

→「（3）逐語記録の作成の仕方」を読み，逐語記録の作成の方法について理解する。

→「(10)資料『逐語記録の検討による教師の応答の改善について』」を読み，これから個別面接をする際に教師の応答で気を付けるべきポイントについて理解する。

（2）個別面接を行う際の留意点

初めに，個別面接を行う際の留意点について説明します。個別面接では，生徒が安心して自分の気持ちを語ることができるような安心した環境を整えることが大切です。また，対象の生徒，話の内容などによって，その状況に合わせて環境を工夫していくことも必要となるでしょう。

ア　場所の設定

人の出入りが少なく，生徒が安心して話せる場所で行うことが望ましい。話の内容が外に漏れず，他者からの視線が届かないことも大切である。リラックスできる雰囲気も必要である。
※カウンセリングルーム，相談室，保健室など

イ　初めの言葉かけ

教師の呼出しにより個別面接を行う場合には，生徒が緊張し，不安を抱いていることが予想される。生徒の緊張や不安をほぐす言葉をかけてから面接を始めることが望ましい。それが生徒に安心感を与えることにもつながる。

具体的な言葉かけの例
「忙しいところ，来てくれてありがとう。」
「緊張しているかな？リラックスしていいんだよ。」

ウ　面接の目的を告げる

教師の呼出しのよる個別面接の場合は，呼び出した目的をきちんと伝えることが必要である。それが，生徒の心理的安定につながり，自分の気持ちを語ることができるようになる。

目的を告げるための具体的な言葉の例
「〇〇君，最近，少し元気がないなと思っていたんだよ。少し話を聴きたいのだけれど大丈夫かな？」

エ　座り方や姿勢

生徒の緊張や不安をほぐし，安心感を与えるために相手と視線の高さを合わせ，できる限り生徒と同じような姿勢で座るとよい。また，圧迫感を与えないために正面に座ることのないよう，ＡやＢの位置になるよう工夫する。

視線の高さ

座席の位置

A

B

オ　時間の制限

「今日の面接は何時何分まで。」と終了時間が分かっていると，生徒も教師も安心してその時間に集中することができる。落ち着いて話を聴くことができるが，お互いの負担が大きくならない程度の時間（長くても50分程度）を設定し，面接開始時に生徒に伝える。

※生徒が面接に対し，抵抗があるような場合には，終了時間を早めることもある。

※生徒が話し足りない様子のときにも，むやみに時間を延ばすことなく，次回の約束して面接を終了した方がよい。

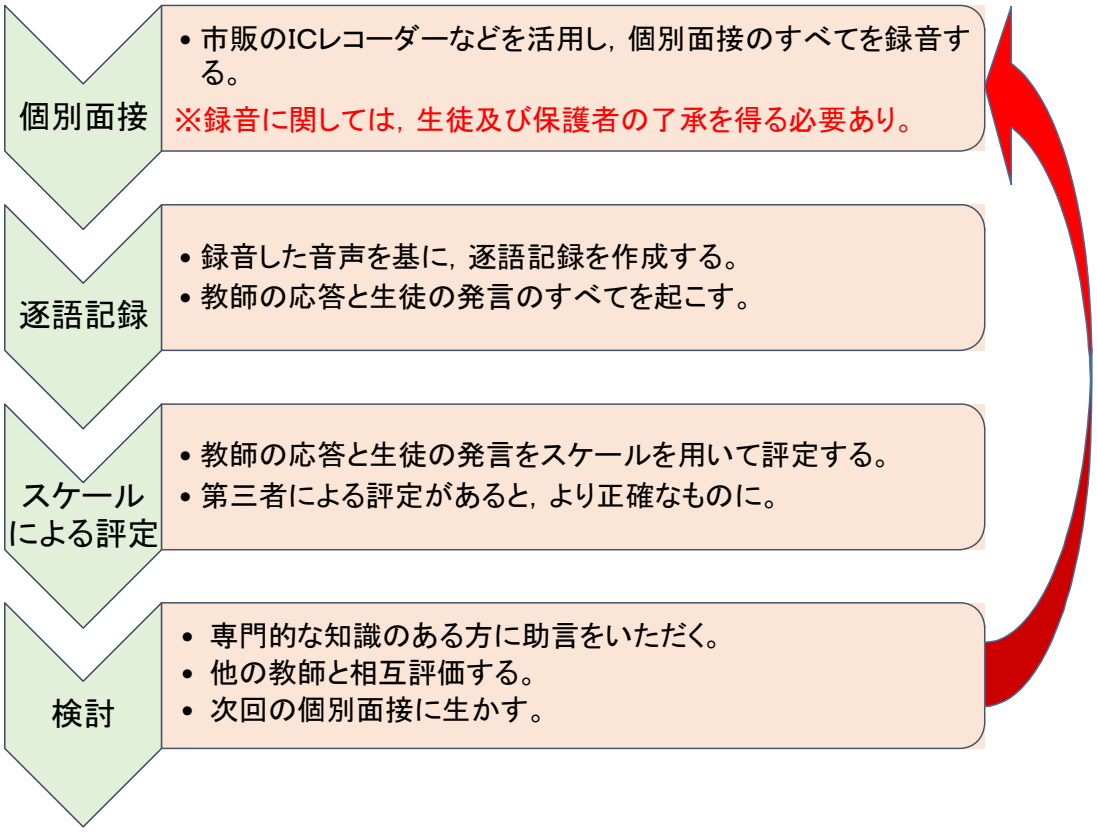
カ　秘密の保持

生徒が悩みを教師に打ち明けると，それだけでも悩みの解消につながる場合がある。以後も生徒が安心して教師に話をすることができるよう，秘密の保持に努める。

※生命にかかわる問題などの場合には，この限りではない。

（3）個別面接から検討までの流れ

まず，生徒と個別面接を行います。事前に専門的な書物を読むなどし，基礎的な知識や基本的な応答の技法などを身に付けることが必要だと思われます。個別面接終了後には，逐語記録を作成します。具体的な作成の仕方については，次項で説明します。それが終わりましたら，スケールを活用し，教師の応答と生徒の発言を，それぞれ「受容的な態度」，「体験過程」という観点から評定します。個別面接を継続して行うことができる場合は，その評定の数値の変化を比べていくと，自らの応答を客観的な視点から振り返ることができます。経験が豊富な先生方と共に逐語記録の検討会を行い，改善点を明らかにすることができれば，次回の個別面接をより実りのあるものにすることができます。



注意事項

※　検討については，可能ならば行ってください。専門的な立場から助言を受けることで，客観的に自分の応答を振り返ることができます。しかし，逐語記録を作成するだけでも，自分の応答の癖に気付いたり，次回の個別面接への改善点を明確にしたりすることができます。

※　プライバシーの保護には十分に留意しましょう。

（4）逐語記録の作成の仕方

村久保雅孝氏は「逐語記録とは，相談面接を録音し，その過程を紙面にほぼ完璧に再現したものである。そこには会話文の他に，沈黙・頷く・笑う・泣くなどの非言語的表現も記録される。」と述べています。会話文をそのまま文字にするだけでなく，その他の身体的な表現も記録しておくと，スケールによる評定や検討を行う際に役立ちます。

逐語記録の記入例

これは一例なので，自分の決まりを作り，記入してもよいでしょう！

番号	会話内容	説明
T 1 C 1	今日は，よろしくお願いします。 お願いします。	・Tはカウンセラー（教師），Cはクライエント（生徒）を表す。 ・1は会話の順番を表す。
C 15 T 16 C 16 T 17 C 17	昨日は本当に楽しいことがあったんです（うん）。 楽しいことがあったんだね（はい）。もし，よかったら教えてくれるかな。 はい。思い出すだけでもおかしくて（うん），昨日B子と買い物に行ったんですよ（うん）。そしたら，私，お財布を忘れて出かけちゃって〔笑い〕。 そうだったんだね。A子さん，大丈夫だったの？ はい。なんとか大丈夫でした。ほんと焦った〔笑い〕。	・（うん）は教師のうなずき，（はい）は児童生徒の返事を表す。言語による反応も記入する。 ・「B子」のように人物名は記号で記入する。 ・〔笑い〕のような非言語的表現も記入する。 ・ここでは「A子」はクライエントである。 ・本来ならば「本当」が正しいが，発言のとおり「ほんと」と記入する。
C 47 T 48 C 48 T 49 C 49 T 50 C 50	もう，マジで…辛いんです（うんうん）。部活辞めたい（ああ）。〔嗚咽〕 部活辞めたいって思ってるんだ。それはどうしてなのかな？ なんか…（うん），なんて言えばいいんだろう。《沈黙32秒》よく分か…んない。分かんないです（うん）。《沈黙８秒》けど，陰でC子に悪口言われてる〔呟き〕。C子（うん），最近，自分に会う度に（うん）睨んでくるんですよ。ああ，イライラする。 そうかあ。イライラしちゃうんだね。 もう，意味わかんないし。【机を指で叩く】C子，この前まではB子の悪口（うん）言ってたんですよ（ふうん）。なんか，いつも誰かこと（うん）悪く言ってる。私に原因があるなら，「はっきり言えよ。」って感じ。 何か思い当たることとかあるの？ ううん…原因かあ（うん）。な，何だろう…。あ！そういえばあれかもしれない！〔大きな声〕そういえば，D子とラインで，C子のこと（うん）話してたんですよ（うん）。それが，ばれたのかも。	・発言に詰まったときは，「…」と記号で記入する。 ・〔嗚咽〕のような非言語的表現も記入する。 ・沈黙があった場合には，《沈黙32秒》のように記入する。記入の目安は５秒以上である。 ・呟く様子のときは〔呟き〕などと記入する。 ・【机を指で叩く】といったような顕著な身体表現は記入する。 ・声量に大きな変化が表れたときは〔大きな声〕などと記入する。

（5）受容的な態度・体験過程とは

個別面接をより正確かつ客観的に振り返ることを可能にするため，その一つの方法として，教師の受容的な態度及び生徒の体験過程を評定していきます。ここでは，受容的な態度及び体験過程の概要について説明します。

受容的な態度とは

受容的な態度とは,「クライエントを独立した人間として尊敬し，自分の価値観にとらわれることなく，相手の経験や感情を非難や評価をせずに受け入れる態度」のことである。アメリカの臨床心理学者であるロージァズ（※ロジャーズとも言う）は，人間自らが持つ成長への傾向を信じ，来談者中心療法を創始した。来談者中心療法では，クライエントが建設的に変容していくためには，六つの条件のみが必要であり，中でも受容的な態度，共感的理解，自己一致をカウンセラーに必要な条件とした。その中でも，本手引きでは，クライエントが安心して自分の気持ちを語ることができるようになるため，相手の言葉や気持ちを受け入れるカウンセラーの受容的な態度を取り上げ，評定することにした。

学校では，教師という立場では生徒の全てを否定や評価をせずに受け入れていくことは難しいことが考えられる。そこで，個別面接という限定された時間や場所においては受容的な態度をより明確にして生徒に接し，安心感を与える必要があると考える。

どうして受容的な態度を評定するの？

行動分析家であるトラックスは，受容的な態度について，カウンセラーがクライエントの経験を何の条件も付けずに温かく受容する高いレベルから，クライエントもしくは諸感情を評価し，非難等を表明するような低いレベルにまでわたる一つの次元であると述べています。つまり，カウンセラーは無条件にクライエントを受け入れていくことを理想としながらも，ときには評価や非難といった理想とはかけ離れた言動を表してしまうことがあることを示しています。

我々教師は「受容的な態度で面接に臨もう。」と心がけても，その職責ゆえに，無意識で生徒の行動を否定したり，評価したりしてしまうことが懸念されます。また，ロージァズはカウンセラーの質の高まりは，クライエントの建設的な変容につながると述べています。つまり，個別面接における教師の応答を定期的に振り返り，評定していくことが自らの受容的な態度を深めていくために必要なのです。受容的な態度の評定を，以後の面接の改善に役立て，生徒の自己成長を導いていきたいものです。

体験過程とは

体験過程とは,「自分自身で具体的に感じているが，上手く言葉に表すことが難しい感情の流れ」のことである。

ロージァズの下でカウンセリングを学んだジェンドリンは，カウンセリングについて研究する中で，クライエントの「話し方の違い」がその成否に関わるという事実を見いだした。「話し方の違い」とは，クライエントが心の実感とどのように関わり，どのように表現するかの違いである。では，実感とは何か。実感とは，悲しい，嬉しいなどの特定の内容を表す気持ちではなく，より複雑で漠然とした心の動きである。悲しいという気持ちといっても，実際には状況によって微妙な違いがあり，例えば「暗くて重たい…，うまく言えないけれど雨音が胸に染み込んでいくようなジーンとした感じ」などと表現されることがある。このように言葉にうまく表すことが難しい感情の流れが体験過程なのである。

どうして体験過程を評定するの？

あるクラスに，中学校の部活動に対しての疲れを語る二人の生徒がいました。A君は「練習きついし，帰るのも遅くなるし，とても疲れて身体がもちません。」と語りました。B君は「練習きついし，帰るのも遅くなるし，とても疲れて身体がもちません。身体がもたないというより，何だか気持ちが疲れている感じがします…。頑張りたいのだけれど，気持ちが付いていかないっていう感じかなあ…。」と語りました。二人の発言の「内容」に注目すると，どちらも部活動に対する疲れですが，視点を「話し方」に変えてみると，A君は疲れにまつわる状況だけを語っていますが，B君は疲れをどのように感じているかを語っています。B君のように，自分でうまく言葉にすることが難しい感情の流れである体験過程を実際に言葉で表出することにより，自分に対する理解が深まっていくのです。このような生徒の変容を教師の主観だけに頼ることなく，客観的に見取っていくために，生徒の体験過程を評定するのです。

（６）教師の受容的な態度及び生徒の体験過程の評定の方法

個別面接における教師の受容的な態度と生徒の体験過程について，それぞれ教師の応答と生徒の発言を，スケールを活用して評定する方法について説明します。

セグメントの抽出

個別面接は50分程度が基本となるが，毎回，時間を確保することは難しいことが予想される。そこで，セグメント（何かを分割したうちの一つの部分）を抽出し，その時間における評定を行う。先行研究では，２分間ほどのセグメントにおける評定の有効性も立証されているが，より正確性を期するためには10分間程度のセグメントの抽出が望ましい。

例えば最初の10分間や最後の10分間など，毎回同じ時間帯をセグメントとして抽出しましょう！

評定

教師の応答と生徒の発言を，それぞれのスケールに照らし合わせ，評定する。応答や発言の中にいくつかの段階が混じることがあるが，一番高い段階を，その応答や発言の評定値とする。

逐語記録（例）

Ｔ１	よろしくお願いします。
Ｃ１	はい。
Ｔ２	元気でした？
Ｃ２	はい。
Ｔ３	今日の気分はどう？
Ｃ３	少し気が重いです。
Ｔ４	気が重いんだ。どうしてか教えてくれるかな。
Ｃ４	はい。テストがあったから嫌だったんです。
Ｔ５	ああ，そう。
Ｃ５	今日は国語と，数学でした。
Ｔ６	テストは嫌いなのかな？
Ｃ６	できれば，学校休みたい。
Ｔ７	ところで，昨日は何してたの？
Ｃ７	昨日は，部活でした。すごく嫌なことがあったんですよ。Ａ男から部活中悪口言われて。もう，最悪ですよ，本当。
Ｔ８	あんまり，気にしないようにしなさい。
Ｃ８	はい。

青字は今回のセグメント

評定一覧

	T	C
1	X	X
2	X	X
3	X	2
4	3	2
5	2	1
6	3	2
7	2	3
8	1	X

スケールの見方，実際の評定の出し方については後ほどで詳しく説明します。

評定平均値

セグメントにおける評定平均値を出す。今回，教師（Ｔ）の応答の評定平均値は2.50（10÷４）となり，生徒（Ｃ）の発言の評定平均値は2.00（10÷５）となった。

「×」は評定として扱いません！

（7）教師の受容的な態度及び生徒の体験過程を評定するためのスケール

生徒の体験過程		教師の受容的な態度	
特徴	発言例	応答例	特徴【応答の技法】
5 新しく気付いた自分の気持ちを語る		無条件の肯定的な尊重を示す	
・自分自身の感情や体験に新しく気付く。 ・ひらめきを得たように強い情緒的反応（声が大きくなる，笑うなど）が見られる。	・「そうです！私は本当はクラスのみんなと仲良くしたいと思っていたんだけど，今までは大人しい自分を演じていただけなんです！」	・「先生には話せないこともあるのですね。そう思うのはおかしいことではありません。それでもあなたを大切に思っていますよ。」	・限定されることなく，相手の感情を受容する。 ・相手が自分を拒否しても，相手を尊重し，受容する。 【支持，沈黙の共有】
今まで気付かなかった自分に気付く		尊重に条件がなくなる	
4 探求的に自分の気持ちを語る		大部分において肯定的な尊重を示す	
・「何だろう」，「何て言えばいいんだろう」，「～かなぁ」などの探求的な話し方や仮説提起，問題提起などが見られる。 ・話し方に沈黙が見られることがある。	・「どうして私はクラスのみんなに話しかけられないのかなぁ。」 ・「本当は仲良くしたいんです。（沈黙）でも，こんなこと話すべきではないかもしれません。」	・「悩むということは，それだけ真剣ということですよ。」 ・「どうして，相手に謝りたいと急に気持ちが変わったのですか？」	・ほぼ無条件に相手の感情を受容する。 ・相手への興味や関心を示し，新たな感情を引き出す。 【質問，リフレーミング，対決】
自分の気持ちについて，確認を始める		相手への興味と関心の基に，本質へ迫る	
3 自分の気持ちを語る		条件的に肯定的な尊重を示す	
・出来事や事柄よりも自分の気持ちが語られ，価値観に基づき在り方を表明する。 ・自分が今どんな感じでいるかを語る。 ・フェルトセンスを語る。	・「私，昔から気の合う友達でないと，本音を語ろうとは思えないんですよ。」 ・「やっぱり私は納得いかないんですよ。心がモヤモヤします。」	・「今，とても不安なんですね。」 ・「話をまとめると，謝りたいとは思っているということですか？」 ・「これからどうしていきたいのですか？」	・相手の感情を単純に受容する。 ・相手の感情を理解し，確認や質問をする。 【繰り返し，質問，要約，明確化】
自分の気持ちが話の中心になる		相手の感情を正確に理解する	
2 出来事への反応としての気持ちを語る		肯定的な尊重に対して消極的である	
・出来事を語る中に，気持ちの表現が見られるが，気持ちは出来事への反応として語られる。 ・欲求を表現する。	・「仲の良い友達といると，ほっとします。」 ・「今年のクラスはつまらないです。早くクラス替えがしたいです。」	・「ああ，そうですか。」 ・「自分で解決しなくてはならないこともありますからね。」 ・「ところで，テストの結果はどうでした？」	・機械的に応答する。 ・相手に対する関心や興味が足らず，相手の感情を理解できない。 ・話題を変えてしまう。 【受容，繰り返し，質問】
自分の気持ちを語り出す		相手の立場を考え，話を聴く	
1 出来事を語る		自分自身を評価のよりどころにしている	
・自己関与のない出来事を話す。 ・自己関与がある出来事を話すが，気持ちの表現は見られない。 ・「～と思う」などの知性化された表現がある。	・「AさんとBさんは仲が良いです。」 ・「昨日はAさんと話しました。」 ・「来年はクラス替えがあると思います。」	・「あなたの言っていることは間違っています。」 ・「絶対に自分から謝るべきだと思います。あなたもそう思うでしょう？」	・相手の発言の否定や遮断をする。 ・自らの固定化された価値観に基づき，さかんに助言を与え，同意を求める。

（8）スケールの見方

ここでは，スケールの見方について説明します。実際の個別面接において教師の応答，生徒の発言の両方とも表出されることが多かった２及び３の段階を抜粋しました。

教師の応答と生徒の発言の段階（１が一番低く，５が一番高い）

面接における基本的な応答の技法の例（ここにある技法が応答に見られると，それぞれの段階に**あてはまることが多い**）※例外もある

段階における生徒の発言例

生徒の体験過程		教師の受容的な態度の在り方	
特徴	発言例	応答例	特徴【応答の技法】
自分の気持ちを語る		**条件的に肯定的な尊重を示す**	
・出来事や事柄よりも自分の気持ちが語られ，価値観に基づき在り方を表明する。 ・自分が今どんな感じでいるかを語る。 ・フェルトセンスを語る。	・「私，昔から気の合う友達でないと，本音を語ろうとは思えないんですよ。」 ・「やっぱり私は納得いかないんですよ。心がモヤモヤします。」	・「今，とても不安なんですね。」 ・「話をまとめると，謝りたいとは思っているということですか？」 ・「これからどうしていきたいのですか？」	・相手の感情を単純に受容する。 ・相手の感情を理解し，確認や質問をする。 【繰り返し，質問，要約，明確化】
自分の気持ちが話の中心になる		**相手の感情を正確に理解する**	
出来事への反応としての気持ちを語る		**肯定的な尊重に対して消極的である**	
・出来事を語る中に，気持ちの表現が見られるが，気持ちは出来事への反応として語られる。 ・欲求を表現する。	・「仲の良い友達といると，ほっとします。」 ・「今年のクラスはつまらないです。早くクラス替えがしたいです。」	・「ああ，そうですか。」 ・「自分で解決しなくてはならないこともありますからね。」 ・「ところで，テストの結果はどうでした？」	・機械的に応答する。 ・相手に対する関心や興味が足らず，相手の感情を理解できない。 ・話題を変えてしまう。 【受容，繰り返し，質問】

３

２

段階における生徒の発言の特徴

段階における教師の応答例

それぞれの段階を見分けるためのポイント（ここでは２と３の段階を見分けるのが話の中心が自分の気持ちになっているかどうかである）

段階における教師の応答の特徴

（９）スケールを活用した評定のポイント

スケールを活用して，教師の応答及び生徒の発言の段階を評定していく際に，「この発言の段階は，２かな？それとも３かな？」と迷うなど，いくつかの困難が予想されます。ここでは，実際に評定した際の課題を基に，評定のポイントについて説明します。

①導入部分ついて

個別面接の導入の部分は，お互いに挨拶を交わしたり，教師側が話をリードしたりすることが多くなり，教師の受容的な態度と生徒の体験過程の段階を評定することは難しくなります。生徒が教師の質問に答えたり，自ら進んで発言したりすることを目安に，評定を始める方がよいと考えます。

②各段階の見分け方について

教師の受容的な態度と生徒の体験過程をそれぞれ評定していく際に,「この発言の段階は，２になるのかな？それとも３になるのかな？」など，迷う場面があると考えます。ここでは，実際の評定において顕著であった課題を中心に，各段階の見分け方ポイントの一部について説明します。

ア　２と３の段階における生徒の体験過程の見分け方のポイント

例　Ｃ１「昨日は三人で遊びに行ったんですよ。とっても楽しかったです。また来週も出かける約束しました。」
※　「遊びに行った」という出来事に対する「楽しかった」という気持ちを語っているので，評定は【２】と判断する。

例　Ｃ１「私，やっぱりＢ子が嘘をつくのはよくないと思うんですよ。だからＣ子が可哀想で…。」
※　「Ｂ子が嘘をつくのはよくない」という価値観に基づき,「Ｃ子が可哀想」と気持ちを語っているので，評定は【３】と判断する。

例　Ｔ１「そのとき，あなたはどんな気持ちだった？」
Ｃ１「はい。人生の中で一番幸せでした。」
※　教師の質問に対し，何らかの過去の出来事に対する「幸せでした。」という気持ちを語っているので，評定は【２】と判断する。

例　Ｃ１「昨日，部活の顧問の先生に，『やる気がない人はやめなさい。』って言われたんですよ。もう，部活辞めたい。」
※　「もう，部活辞めたい。」という欲求を語っており，話の中心が昨日の出来事なので，評定は【２】と判断する。

例　Ｃ１「Ｂ子と話してても，長く続かないんです。何を話せばいいのか分からなくなっちゃって。でもずっと友達でいたい。絶交なんて考えられない…。」
※　「ずっと友達でいたい。」という欲求を語っているが，話の中心が自分の気持ちであり，今の自分の気持ちを語っているので，評定は【３】と判断する。

例　Ｃ１「さっき，Ｂ男に無視されたんですよ。あー，なんかイライラする。本当，頭に来ますね。」
※　「イライラする。」というフェルトセンス（言葉やイメージで上手く表現することができない感覚）を語っているので，評定は【３】と判断する。

イ　各段階における基本的な応答の技法の見分け方のポイント

（ｱ）【質問】の見分け方のポイント

例　Ｃ１「もう，高校に行かなくてもいいかなって思ってるんです。」
　　Ｔ１「高校に行かなくてもいいと思ってるんだ。どうしてそう思うようになったのですか。」
　　Ｃ２「何だろう。将来，何の仕事に就きたいか分からないからかなあ。」

※　「どうしてそう思うようになったのですか。」という開かれた質問（クライエントに自由に語らせるような質問）によって，「将来，何の仕事に就きたいか分からないからかなあ。」という新しい気付きを導いたので，評定は【４】と判断する。

例　Ｃ１「今月で塾を辞めようと思ってるんです。」
　　Ｔ１「辞めようと思ってるんだ。どうして辞めようと思ってるんですか。」
　　Ｃ２「頑張っても，成績が上がらないので。」

※　「どうして辞めようと思ってるんですか。」という開かれた質問によって「成績が上がらないので。」という発言が返り，生徒の考えを理解できたので，評定は【３】と判断する。

例　Ｃ１「今日は，本当に暑かったです。」
　　Ｔ１「暑いのは苦手なんですか。」
　　Ｃ２「はい。苦手です。」

※　「暑いのは苦手なんですか。」という閉ざされた質問（クライエントが「はい・いいえ」で答えられるような質問）によって，「はい。苦手です。」という返事があり，質問に答えるだけの機械的な反応になったので，評定は【２】と判断する。

（ｲ）【繰り返し】の見分け方のポイント

例　Ｃ１「誕生日にＢ子がプレゼントくれたんです。そのとき，本当に嬉しかったんです。」
　　Ｔ１「嬉しかったんだね。」

※　生徒の「本当に嬉しかったんです。」という発言に対し，教師は「嬉しかったんだね。」と生徒の感情に焦点を当て，発言を繰り返すことで相手の感情を受容したので，評定は【３】と判断する。（相手の表現をそのまま使い，感情を繰り返すことを特に「感情の反射」という。）

例　Ｃ１「この前，先輩に初めて自分からあいさつしたんです。」
　　Ｔ１「自分からあいさつしたんだ。」

※　教師は生徒の発言を「自分からあいさつしたんだ。」と繰り返したが，生徒の感情を繰り返したのではなく，事実を繰り返したのである。機械的な応答になったので，評定は【２】と判断する。

③一つの発言や応答の中に，いくつかの段階が混在している場合について

教師の応答及び生徒の発言の中に，いくつかの段階が混在していることがあります。その場合は，一番段階の高いものをそれぞれにおける評定とします。

例　「早く，修学旅行に行きたいです【２】。私たち，金閣寺に行くんですよ【１】。今，本当に心がそわそわする感じです【３】。」

※　発言の中に，三つの段階が混在していると考えられますが，一番高い段階の【３】を，この発言の評定とします。

(10)スケールを活用した評定の実際(逐語記録を基に)

ここでは，中学校の個別面接を想定した逐語記録を基に，教師の応答及び生徒の発言を，スケールに照らし合わせて評定していきます。「評定の視点」を参考にしていただき，先生方の実際の評定にお役立てください。

逐語記録（例）を基にした評定の実際

番号	会話内容（下線部は評定に活用した部分）	評定及び評定の視点
T１	A子さん，こんにちは。	面接の導入部分については評定しないと考える
C１	こんにちは。	
T２	今日はよろしくね。最近，A子さんの様子を見ていて，何か元気がないと思って，少し話を聴けたらいいなと思って来てもらいました。	
C２	はい。	
T３	この面接で話した内容は，他の誰にも話したりしないことは約束します。だから，安心してくださいね。今日は，そうだなあ。４時30分には終わりにしましょう。完全下校に間に合うようにしようね。	
C３	はい。分かりました。	
T４	それで，最近，調子はどう？	
C４	調子…ですか（うん）。<u>まあまあいいです。</u>	2 ・T４の質問の答えとして自分の気持ちを語っている。
T５	<u>そうかあ。</u>	2 ・【受容】のうなずきによる機械的な応答である。
C５	まあまあだけど（うん），ちょっとイライラしてる（うんうん）。親が受験のこと毎日言ってきて（うん），<u>もう，ホント嫌なんですよ</u>（ああ）。	3 ・教師の質問に答えるのではなく，自分から語り，気持ちが話の中心となっている。
T６	そうかあ。<u>本当に嫌だと思ってるんだ。</u>	3 ・【繰り返し】により，相手の感情を単純に受容している。
C６	自分，本当は将来美容師になりたいんです（おお）。<u>人の役に立つ仕事したくて</u>（うんうん）。だから，中学卒業したら専門学校も考えてて（うん）。でも，うちの親，「高校には絶対行かなきゃだめだ。」って言うんですよ。	3 ・「人の役に立つ仕事したくて」は欲求を表しているが，ここでは自分の価値観に基づいた発言と，上の段階で捉える。
T７	そうかあ。でも，先生さあ，家の人が言うように，<u>高校行ってから専門学校行くのも悪くないと思うんだけど。</u>周りの人もほとんど，高校には行くよ。	1 ・教師の価値観に基づいた応答となり，A子の発言を否定している。

番号	会話内容（下線部は評定に活用した部分）	評定及び評定の視点
C７	ううん。そうですねえ（うん）。高校に行った方がいいって思ったりも（うん）するんですよ。やっぱり。	3 ・自分が今，どんな気持ちでいるかを語っている。
T８	高校行った方がいいって思ったりもするんだ。それはどうしてそう思うの？	3 ・A子の感情を理解し，【質問】をしている。
C８	ううん。何て言えばいいんだろう（うん）。《沈黙12秒》な…，何ていうか，やっぱり中学卒業していきなり専門行くのって（うん），自分だけのような気がして。	4 ・沈黙しながら，探求的に自分の気持ちを語っている。
T９	そうかあ。友達みんなが「高校行く。」って言えば，自分もやっぱり行きたいっていう感じなのかな。	2 ・A子の気持ちを【明確化】しようとした応答だが，C９の発言から考えるとA子の感情を正確に理解できていない。
C９	そうですね。〔呟き〕	× ・返答だけのものは評定しない。
T10	そうかあ…。《沈黙15秒》ところで，最近部活はどんな感じ？	2 ・沈黙が見られるが，これは教師の沈黙である。教師が応答に困り，話題を変えている。
C10	あ，最近ペア変わったんですよ（おお）。この前の大会まではB子と組んでたんですけど（うんうん），顧問の先生が「C子と組んでみなさい。」って。	1 ・自己関与している出来事だが，気持ちの表現は見られない。
T11	先生が「C子と組んでみなさい。」って言ったんだ。	2 ・A子の言葉を繰り返しているが，事実の【繰り返し】であり，機械的応答である。
C11	まだ，コンビがうまくいかない（うん）。ああ，またペア，B子に戻りたい（うん）。	2 ・欲求を表現している。
T12	また，B子さんとのペアに戻りたいんだ。どうしてB子さんの方がいいの？	3 ・【繰り返し】により，相手の感情を単純に受容している。
C12	やっぱり，慣れだと思うんですよ。B子とは２年間，ペア組んでたんですよ（うん）。なんかC子とは…。	1 ・「～と思う」など知性化された表現で出来事を語っている。
T13	やっぱり慣れかあ〔遮断〕。慣れって大事だよね。先生もそう思うよ。	1 ・C12でA子は発言を続けようとしていたのに，教師が遮って応答している。
C13	なんかC子，私のこと嫌ってるみたいな（うん）感じするんですよ（うん）。私がミスすると（うん）にらんでくる。私,「ごめんね。」って謝るんですよ，すぐに。でも許してくれない〔涙〕。私，その度にどうしようって…。	3 ・質問に答えるのではなく，自ら気持ちを語っている。
T14	そうなんだ。	2 ・【受容】のうなずきによる機械的な応答である。
C14	私にだけ冷たく（うん）あたるんですよ。もう辛くて…。	2 ・出来事への反応として気持ちを語っている。

番号	会話内容（下線部は評定に活用した部分）	評定及び評定の視点
T15	辛いんだね。話を少しまとめてみると，試合中にA子さんがミスをしちゃうと，いつもC子さんが睨んできて，冷たくされる。そういう感じかな。	3 ・A子の話を【要約】して，出来事の確認をしている。
C15	ううん。ちょっと違うかも。	1 ・自己関与している出来事だが，気持ちの表現は見られない。
T16	ちょっと違うんだね。よかったら少し詳しく話してくれるかな。	4 ・A子への興味や関心を示し，感情を引き出そうとしている。
C16	はい。いつも睨んでるわけじゃないんです。自分がミスしても「ドンマイ」って言ってくれるときもある。もう，よく分かんない（うんうん）。自分だったら，相手が一生懸命だったら，許せると思うんですよ。	3 ・自分の価値観に基づき，在り方を表明している。
T17	そうかあ。A子さんは，相手が一生懸命だったら許せるんだね。さっき，C子さんが「ドンマイ」って言ってくれるときもあるって，A子さん言ったけど，睨まれるときと励ましてくれるとき，どんな違いがあるのかな。	3 ・A子の感情を理解し，【質問】をしている。
C17	ううん。何だろう…。《沈黙24秒》あ！もしかして！（大きな声）もしかしたら（うん），私の態度かもしれない。私，ミスして「ごめんね。」ってC子に言ったとき，自分のプレーに納得いかないときは（うん），下向きながら言ってたかも。そのときはC子，冷たい感じした。私，試合中，自分の気持ちコントロールできないときあって（うん）。私って最悪かも。	5 ・ひらめきを得たような反応が見られ，自分自身の体験に新しく気付いている。
T18	なるほど。そんな違いがあったんだね。そして，A子さん，自分の気持ちをコントロールできないときがある。自分のこと最悪って思ってるんだ。先生，それでもA子さんのこと大切だと思うよ。「最悪」って言っても，しっかりと自分を見つめてるってことじゃないかな。	5 ・限定されることなく，A子の感情を受容している。
C18	なんか，照れますね。そういうふうに言われると。	2 ・出来事への反応として気持ちを語っている。
T19	そろそろ時間になっちゃうので，今日は終わりにしたいと思います。A子さん，何か話したいことがあったら，声をかけてくださいね。一緒に考えていきましょう。それでは，今日はありがとうございました。	3 ・A子の感情を理解しようとしている。
C19	ありがとうございました。	× ・返答だけのものは評定しない。

(11) 資料

逐語記録の検討による教師の応答の改善について

本研究においては，計10回の個別面接を行う度に，専門的な知識を有する先生方のスーパーバイズを受け，逐語記録を検討していただきました。その中で個別面接の教師の応答について，実際に御指導いただいた内容の一部をここに掲載します。今後，個別面接を行う際に，それぞれの先生方のお役に立てれば幸いです。なお，カウンセリングの技法については，多様な考え方が存在しますので，本資料における内容が全てではありません。また，個人情報の保護のため，逐語記録は作り直したものとなっています。御了承ください。

資料の見方

教師の応答の改善の視点	
【面接の場面】 逐語記録	逐語記録の検討による指導内容 ↓ 教師の応答の改善の例

①誠実かつ正直に面接に臨もう！	
【面接の導入での約束】 Ｔ１：今日から，Ａ子さんの話を色々聴いていきたいなと思います。よろしくお願いします。この面接の時間と場所だけは，私は学校の先生ではありません。親友だと思って何でも話してくださいね。よろしくお願いします。 Ｃ１：よろしくお願いします。	先生は頑張っても，親友にはなれません。相手をリラックスさせたかったのかもしれないけれど，誠実に，正直な気持ちで面接に臨めば大丈夫！ ↓ Ｔ１：ここで話したことは，他の誰にも言いません。一緒にこれからのことを考えていきましょう。 ※生命にかかわることなどについては，専門的な立場の人に伝える場合があります。

②相手が話したいことを話せるようにしよう！	
【面接の導入での話題】 Ｔ１：こんにちは。一週間振りですね。今日は５時までＡ子さんの話を聴いていきたいと思います。どうですか？一週間経って，何か大きな変化はありましたか？ Ｃ２：変化ですか…。そうですね。特にないですね。	もしかしたら，Ａ子さんは何か話したいことがあったのかもしれませんね。先生が「何か大きな変化は？」と質問すると，Ａ子さんはそれに答えるしかなくなってしまいますよ。 ↓ Ｔ１：最近調子はどうですか？何か話したいことはありますか？

③相手の気持ちをしっかりと受け止めていこう！	
【過去の友人関係の辛い思い出を語る】 Ｃ１：自分でも必死に話しかけてたんですよ。無視されるの嫌だから〔泣く〕。 Ｔ１：ああ，そうだったんだ。ああ。 Ｃ２：それでもだめで，どうしようもなくて…。 Ｔ２：あ，そうかあ。ああ。 Ｃ３：本当，無視されるの辛い…。 Ｔ３：あ，そうかあ。ああ。	「ああ，そうかあ。」という機械的な応答では，言葉がやや軽いですね。相手の言葉をそのまま使い，繰り返すことで受容をしていきましょう！話すペースもゆっくりと。 Ｔ１：そうかあ。無視されるのは嫌だったね。 Ｔ３：うん。辛かったんだね。

④自分の価値観で相手の気持ちを考えないようにしよう！	
【親の指導の不満について語る】 Ｃ１：うちの親，妹には甘くて，私ばっかり怒るんですよ。昔からそうでした。ほんと頭に来ます。「いつか家出してやる！」とか真面目に思ってて…。 Ｔ１：そうかあ。いつも怒られちゃうんだ。辛いなあ。うん，本当に辛い。	Ａ子さんは，自分で「辛い」とは発言していませんね。先生はＡ子さんの気持ちを考えたつもりでしょうけれど，自分の価値観で応答するのはやめましょう。 Ｔ１：そうかあ。自分ばっかり怒られちゃうんだね。例えばどんなときに怒られちゃうの？よかったら話してくれるかな。

⑤面接中は相手のことだけを考えよう！	
【学級の友人について語る】 Ｃ１：最近，Ｂ子ちゃんと仲良くしてるんです。 Ｔ１：Ｂ子さん，少し様子変じゃないかな。一人でいるとき多いし。先生，心配してるんだよ。何かＢ子さんについて気になることはある？ Ｃ２：確かにＢ子ちゃん，元気ないときあります。楽しい話してても，あんまり笑わないし…。 Ｔ２：ううん。やはりＢ子さん，心配だね。	面接の相手は誰ですか？Ａ子さんですよ。面接の時間だけはＡ子さんのことを考えてあげてくださいね。Ｂ子さんの情報を集めるのは違うときにしましょう。 Ｔ１：そうなんだ。Ｂ子さんと仲良くしてるんだね。この前Ｂ子さんと話しているＡ子さん，とても楽しそうだったよ。

⑥相手が自由に考えを話せるように応答しよう！	
【部活動での不安を語る】 Ｃ１：自分，経験なかったんですけど，バスケ部入ったじゃないですか。みんな小学校からやってて，上手いんですよ。なんか大丈夫かなって。 Ｔ１：自分だけ未経験で，みんなについていけるか不安なんだね。そんな感じで間違いないよね。 Ｃ２：はい。まあ，そんな…感じ…です。	先生が「間違いないよね。」と確認したら，たとえ違っていてもＡ子さんは否定できなくなってしまいまう可能性があります。。自由に考えを言えるような応答を心がけてくださいね。 Ｔ１：「大丈夫かな？」っていう不安があるのかな？不安とはちょっと違う感じかな？

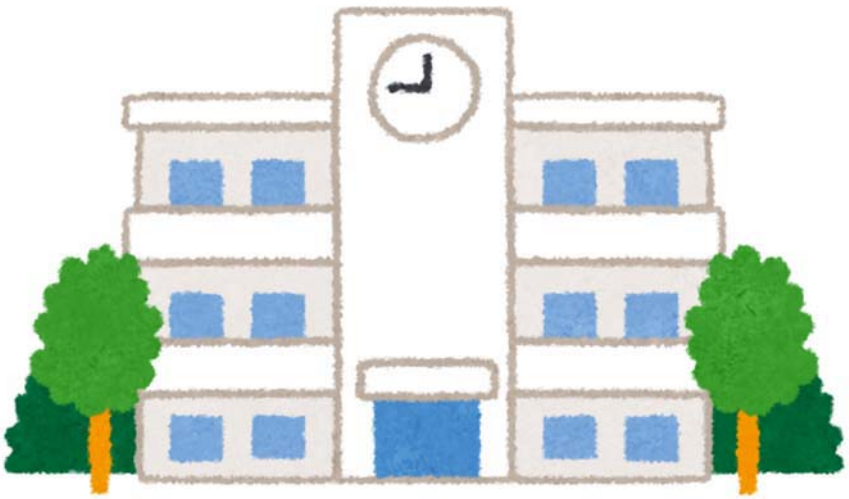
⑦相手のよさを見つけ，認めていこう！	
【友人関係の難しさについて語る】 Ｃ１：今年のクラス，みんな元気な人しかいないんですよ。だからいまいち，どうやって付き合っていけばいいか分からなくて。なんか，親友ができなさそうで。自分，大人しいタイプなんで…。 Ｔ１：ううん。なかなか自分とタイプが合う人がいないんだね。それは何とかしていきたいね。 Ｃ２：はい。自分でもそう思います。	Ａ子さんの発言の中から，積極的によさを見つけ出し，それを自然な形で相手に伝えていきましょう。リフレーミングなども効果的かもしれませんよ。 Ｔ１：自分のこと大人しいと思っているんだね。見方を変えると，大人しいというのは，落ち着いていて穏やかとも考えられるよ。

⑧相手の発言から自分の応答までの間を取ろう！	
【将来の夢について語る】 Ｃ１：私，将来，獣医になりたいと思ってるんですよ。昔，家で犬飼ってたんです。それ…。 Ｔ１：獣医になりたいんだ（Ａ子の発言に重なる）。先生も昔，犬飼ってて，小学生のときは獣医になりたいと思っていたんだよ。 Ｃ２：そうだったんですか。	Ｃ１でＡ子さんは，まだ発言をしようとしていましたね。先生の応答のタイミングが早かったので，Ａ子さんの発言に重なってしまいました。落ち着いてゆっくり応答してくださいね。 Ｃ１：それが，病気で死んでしまったんです。 Ｔ１：（間をおいて）そうだったんだ。その出来事が獣医になりたいきっかけになったの？

⑨言語以外の表現にも気を配り，相手の気持ちに寄り添っていこう！	
【修学旅行の思い出について語る】 Ｔ１：先週の修学旅行はどうでした。 Ｃ１：修学旅行ですか？金閣寺にも行ったし，奈良公園でシカにエサもあげたし。まあ，楽しかったですね【髪をいじる】〔小さい声〕。 Ｔ２：楽しかったんだね。先生も楽しかったよ。特に何が楽しかった？ Ｔ２：そうですね…。まあ色々…。	Ａ子さんはＣ１で髪をいじりながら，小さい声で「まあ，楽しかった。」と発言していますね。本当は違う気持ちがあるのかもしれません。気付いたら聴いてあげてくださいね。 Ｔ１：今,「楽しかった。」って言ったけど，Ａ子さん，ちょっと元気なさそうな感じがするんだ。何かあったの？もしよかったら話を聴くよ。

⑩相手を誘導するような応答は控えよう！	
【友人とのトラブルについて語る】 Ｃ１：昨日，Ｂ子とケンカしたんです。もう，本当に頭に来る。Ｂ子が約束破ったんですよ。 Ｔ１：約束破ったんだ。それじゃもう，やっぱり許せない？ Ｃ２：許せない。 Ｔ２：許せないよね。うん。	先生はＡ子さんの気持ちに共感したくて，Ｔ１で「やっぱり許せない？」と応答してしまいました。これでは，Ａ子さんの発言を誘導するような応答になってしまいます。先回りしないように！ Ｔ１：そうかあ。昨日ケンカしてしまったんだね。Ｂ子さんが約束破ってしまったんだ。これからどうしていきたいの？

⑪未来志向で相手の話を聴こう！	
【最近の生活について語る場面】 Ｃ１：最近あんまり楽しいことなかったんですよ。何やってもうまくいかない。Ｂ子と仲直りできたことぐらいしかよかったことはないなあ。 Ｔ１：そうかあ。最近楽しいことはなかったんだね。よく頑張って耐えたね。 Ｃ２：はい。耐えました。なんか，最悪でした。	自己否定的な発言が続いているときは，その例外を探すような応答が効果的な場合もあります。辛い思い出を振り返るのは程々に，未来へ向けて共に進んでみましょう。 Ｔ１：そうかあ。Ｂ子さんと仲直りしたんだ。安心したよ。どんな方法で仲直りしたの？

⑫面接の終わりには最後の確認をしよう！	
【今回の面接終了の場面】 Ｔ１：そろそろ終わりの時間が近付いてきましたね。 Ｃ１：はい。 Ｔ２：今日，Ａ子さんが色々なことを話してくれて，先生とてもうれしかった。Ａ子さんのこと，理解することができたと思う。次回も自分の気持ちをしっかりと話してくださいね。また，来週。 Ｃ２：さようなら。 Ｔ３：さようなら。	教師という職業はどうしても「語り」たくなってしまうものです。そこを我慢して，面接の最後の場面は，相手に話し足りないことについて確認するのがよいでしょう。 Ｔ２：今日，どうしてもこれだけは話しておきたいことがあったら，最後に聴いておきたいなあ。どうかな？

〈引用文献〉
文部科学省　「生徒指導提要」　平成22年３月
国分康孝編　「カウンセリング辞典」誠信書房　平成16年４月
池見陽著　「心のメッセージを聴く」講談社現代新書　平成17年９月
〈参考文献〉
ロージァズ著　「サイコセラピィの研究」岩崎学術出版　平成元年11月
ロージァズ著　「人間関係論」岩崎学術出版　平成３年10月